

## 公 表

### 第56回技能五輪全国大会「造園」職種競技課題

次の注意事項及び仕様に従って、競技時間内に指定された区画内に施工図に示す庭園を見栄え良く作庭しなさい。

#### 1 競技時間

標準時間	10時間30分
打切り時間	11時間

#### 2 注意事項

- (1) 支給された材料の品名、寸法、数量等が「競技用材料（支給材料）」のとおりであることを確認すること。
- (2) 競技開始後は、原則として支給材料の再支給はしない。
- (3) 工具等は各自必要と思われるものを使用してよい。ただし原則として電動工具の使用は不可とする。
- (4) あらかじめ印をしたり、定規として準備してきた用具などは使用を禁止する。
- (5) 競技中は、工具の貸し借りを禁止する。
- (6) 競技中に観客等と話をしたり、指導を受けたと判断されたときは、減点もしくは退場を命ずる。
- (7) 指定された範囲内で、安全に配慮して作業を行うこと。
- (8) 作業時の服装等は、作業に適したものとし、保護帽を着用すること。  
なお、保護メガネを必要とする作業においては着用すること。
- (9) 競技中は携帯電話（メール、時計、電卓の使用を含む）の使用を禁ずる。
- (10) 競技中は課題と図面以外の参照を禁止とする。
- (11) 課題と図面にメモ等を書き入れて持ち込むことを禁止とする。
- (12) 標準時間を超えて作業を行った場合は、超過時間に応じて減点される。
- (13) 作業が終了したら、競技委員に申し出ること。

### 3 仕様

#### 3-1 石積み（野面積み）

石積用石材を使用して、図面のように石積みを行う。

#### 3-2 小舗石・レンガ・延石敷き・石張り

小舗石、レンガ、延石を図面のように土ぎめで敷設する。「乱張り」と指定された箇所は、石張り用石材を使用し、石張り（乱張り）を行う。

#### 3-3 石積み（小端積み）

石積用石材を使用して、図面のように石積みを行う。石積みには目地を設け、枠に接する部分は段逃げ（段落ち）とする。

#### 3-4 竹垣

竹、木材などを使用し、詳細図のとおり施工する。

#### 3-5 ベンチ

竹、木材などを使用し、詳細図のとおり施工する。

#### 3-6 敷石、飛び石

敷石、飛び石を図面のように土ぎめで敷設する。

#### 3-7 水鉢

水鉢を図面のように設置する。台石は、石積用石材（野面積み）から選び、水鉢を水平に設置する。水鉢には水を入れ、水草を浮かべる。

#### 3-8 植栽

高木及び中木は、図面のような感じになるよう土ぎめで植栽する。低木は、石積みの背後の指定箇所に修景を考慮し植栽する。

#### 3-9 草花植栽

支給された下草・花を、指定された区画に修景を考慮して植栽する。

#### 3-10 芝の植付け

目地なし、目土なしで、図面のように施工する。

#### 3-11 地均し・整地

ていねいに仕上げること。

#### 3-12 片付け

道具を整理し、ゴミをまとめておくこと。

また国際大会に準じて、次の2点を実施する。

①モジュール採点を行う。競技1日目（11月3日）の12:30までに、仕様3-1～3-2を、作業終了時までに、仕様3-3～3-4を完成させること。以上の工程を競技1日目（11月3日）に採点する。

②競技前日、課題の一部を変更する。11月2日の課題説明時に、変更内容を公表する。

4 支給材料（1組分）

品 名	寸法又は規格 (mm)	数 量	備 考
石積用石材（野面積み）	Φ100~500 内外	1 トン	沖縄県産 琉球石灰岩
石積用石材（小端積み）	600×100× 70	1 4 本	御影石
	600×100× 30	1 0 本	
小舗石（サビ色）	90× 90× 90	2 0 5 個	
小舗石（白色）	90× 90× 90	1 7 5 個	
レンガ	210×100× 60	1 5 個	
延石	600×100× 70	2 本	
石張り用石材（乱張り）	600×300× 15	1 1 枚	御影石
飛び石	Φ200~500 内外	9 個	野面積み用石材を流用
敷石	600×300× 50	6 枚	御影石
水鉢	Φ300~350 内外	1 個	
竹垣、ベンチ用 角材	90× 90×3000	3 本	
竹垣用 枠木	38× 19×1200	4 本	
竹垣、ベンチ用 平板材	89× 19×3650	4 枚	
竹垣、ベンチ用 唐竹	4 節上り 回り 70 mm~90 mm内外	7 本	
竹垣、ベンチ用 L型金具	60×60	1 3 個	
ベンチ用 平金具	3×19×70	3 個	
竹垣、ベンチ用 ビス	38 mm	1 1 5 本	
	50 mm スリムタイプ	4 5 本	
竹垣、ベンチ用 シュロ繩	径3 mm 長さ 37m	1 束	
高木	H 2500 程度	1 本	
中木	H 1800 程度	1 本	
中木	H 1500 程度	1 本	
低木	H 600 程度	5 本	
低木	H 300×W300 程度	1 2 株	
水草		1 株	
下草・草花		3 5 ポット	
コウライ芝	切芝	7 束	
客土		1 m <sup>3</sup>	

## 5 持参工具

- (1) 必要と思われる工具は持参して良いが、手作業で行うことを原則とするため電源（発電機も含む）を必要とする電動工具や油圧を使う工具については使用できない。  
ただしベンチ及び木柵施工のビス止めに使用する充電式インパクトドリルについては持参可とする。
- (2) 工具の大きさについては特に指定はないが、通常使用している標準的な工具とする。
- (3) 充電式ドリルの刃を交換してサンダーのように使用することはできない。

## 6 その他の注意事項

- (1) ベニヤ板を2枚支給するので自由に使用して良い。
- (2) 印刷方法等で課題図面の縮尺に誤差が発生した場合は、表示寸法を優先にすること。
- (3) 材料については都合により直前に変更することがある。
- (4) 競技終了後、課題の解体撤去作業を行う。

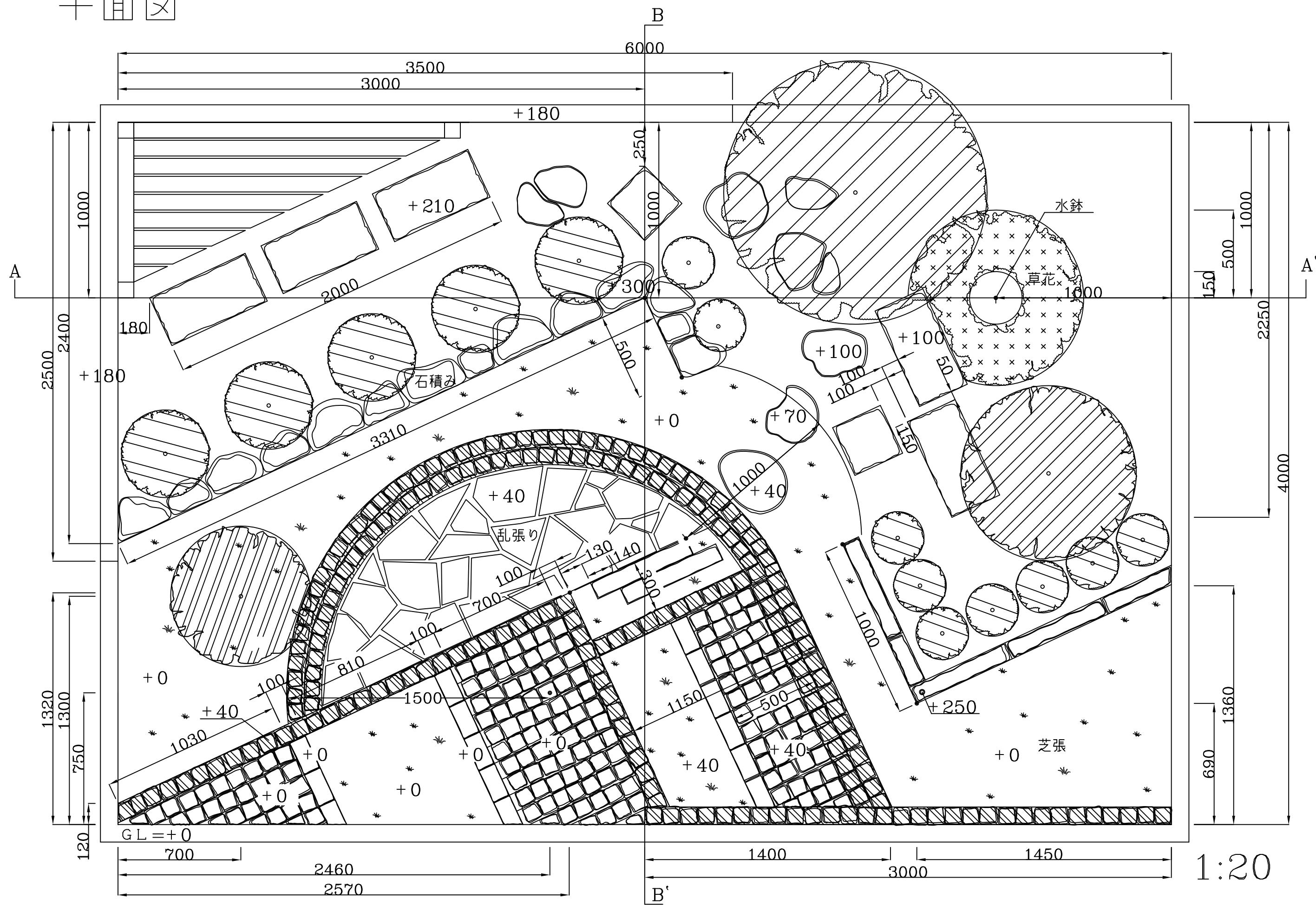
## 7 競技日程

11月2日（金）	下見・説明	集合9時30分、	開始10時、	終了11時30分
11月3日（土）	競技	集合8時、	開始8時30分、	終了16時30分
11月4日（日）	競技	集合8時、	開始8時30分、	終了12時00分（標準時間）
				打切り12時30分（打切り時間）
				解体撤去 14時30分～15時30分

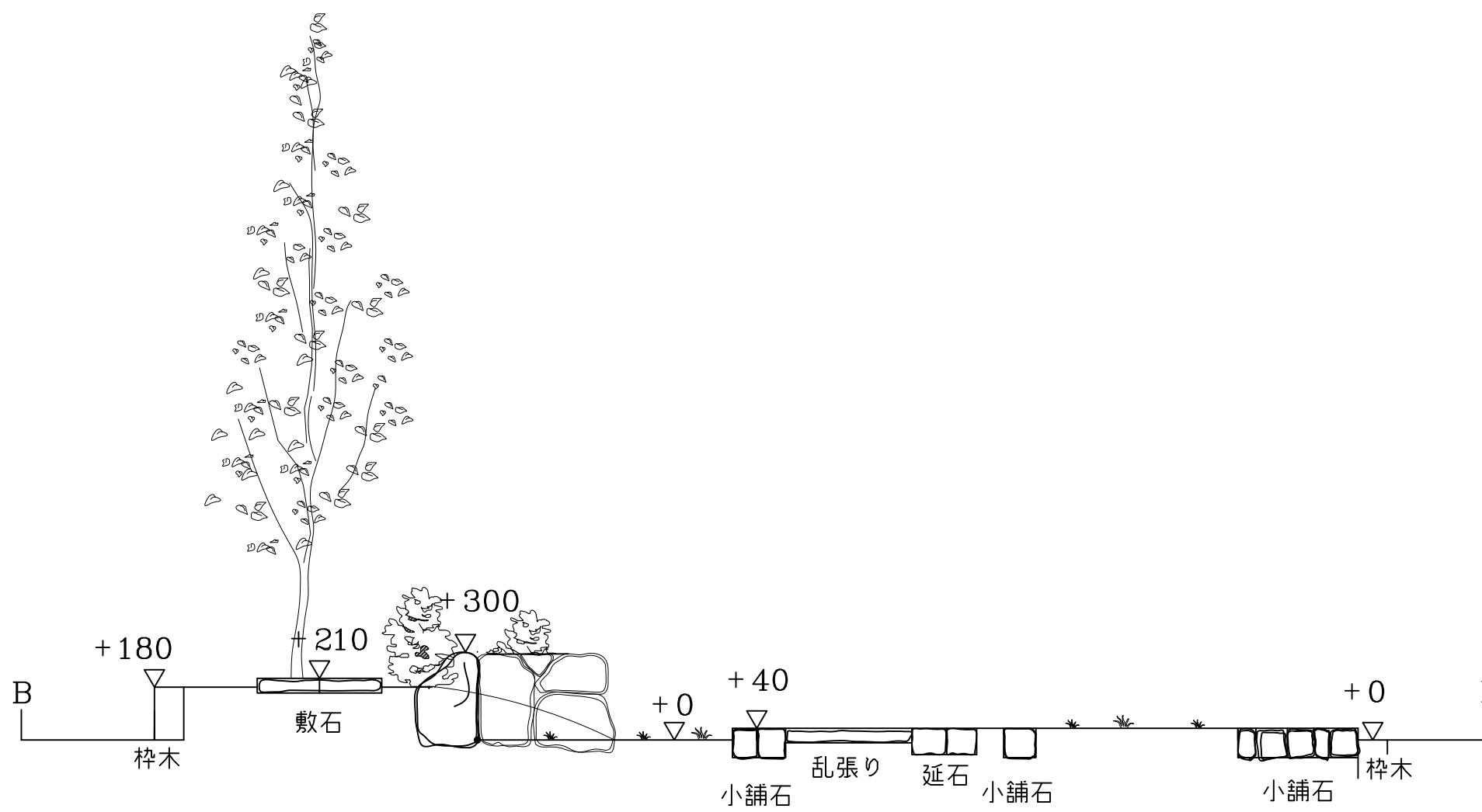
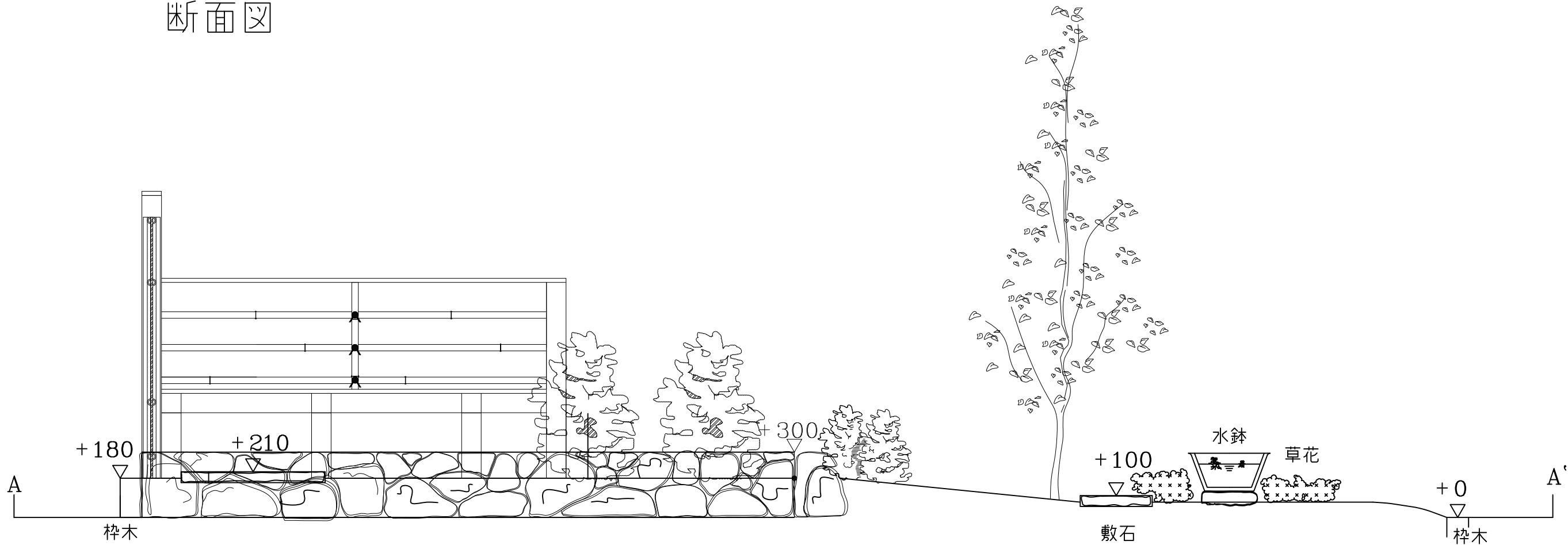
## 8. 採点項目及び配点

採点項目		配点
作品採点	客観評価	30点
	出来栄え	50点
作業時間採点（経過時間に応じて減点）		10点
作業態度採点		10点
工具の取り扱い		
安全作業		
仕様書・図面の理解		
作業現場の清潔さ		

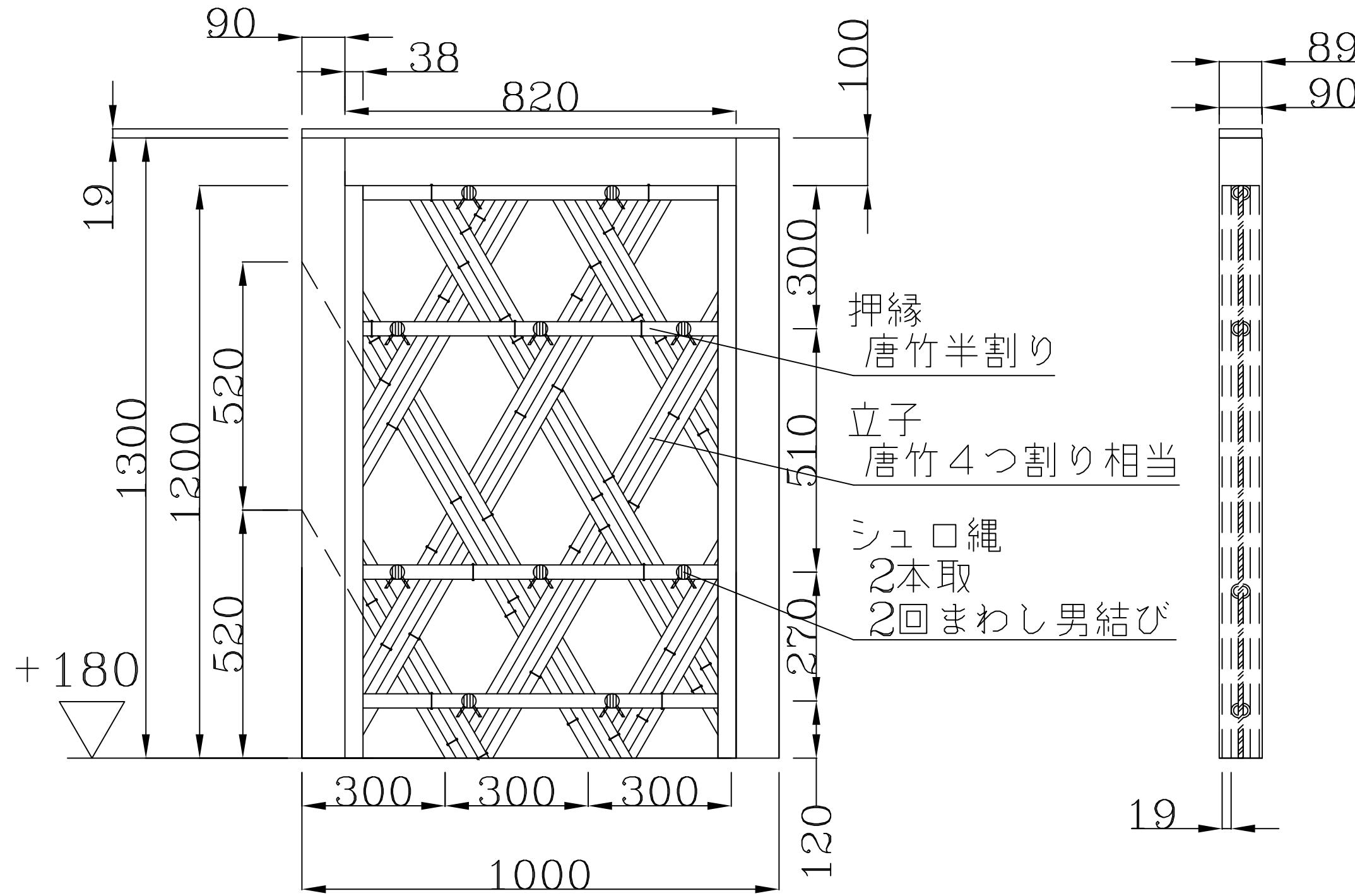
平 丙 义



断面図



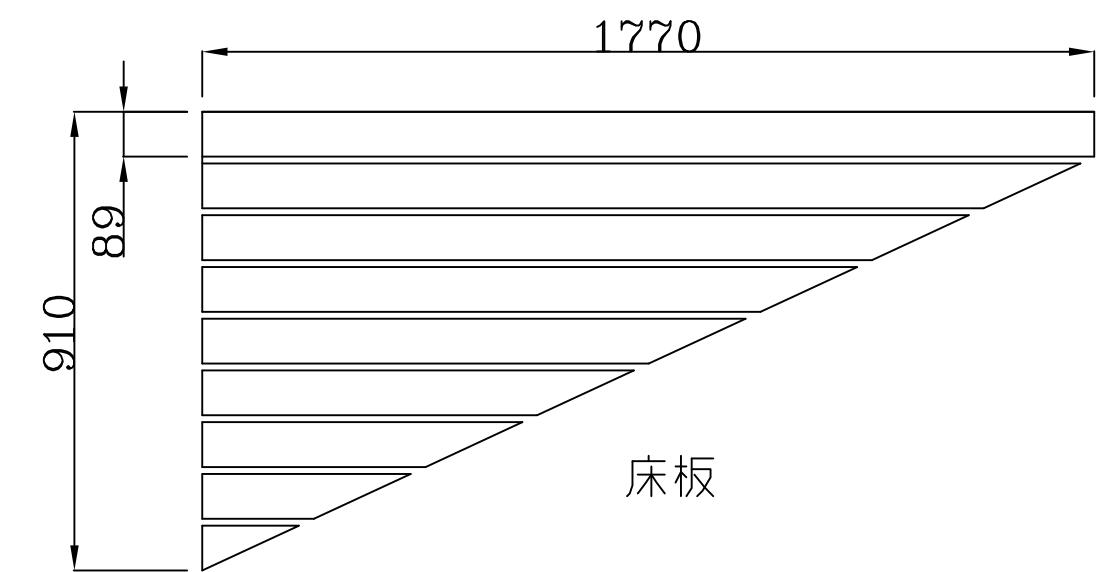
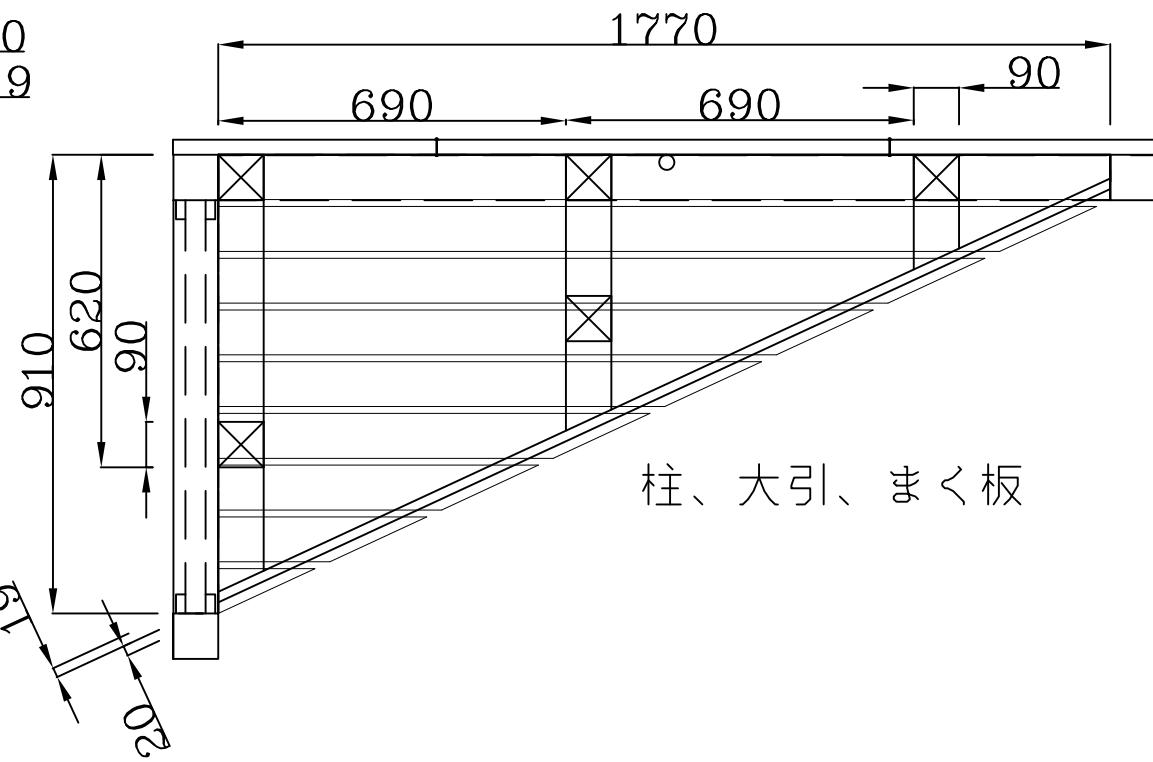
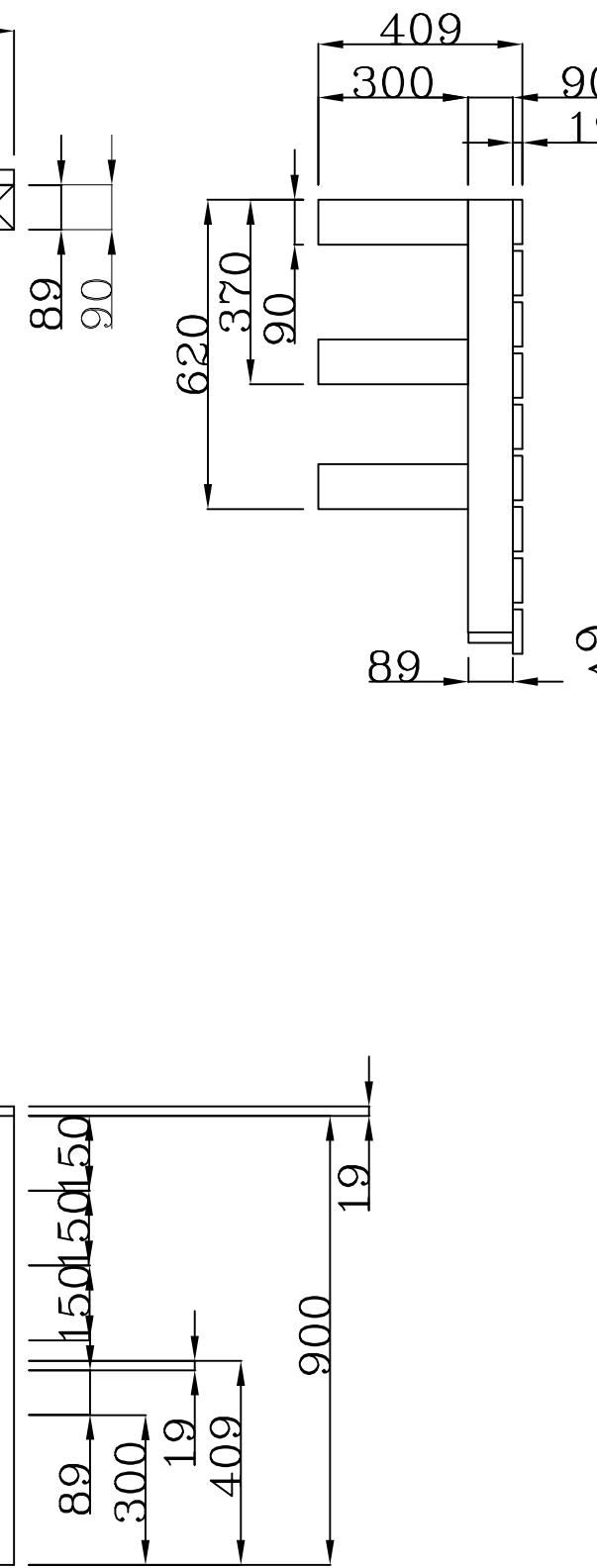
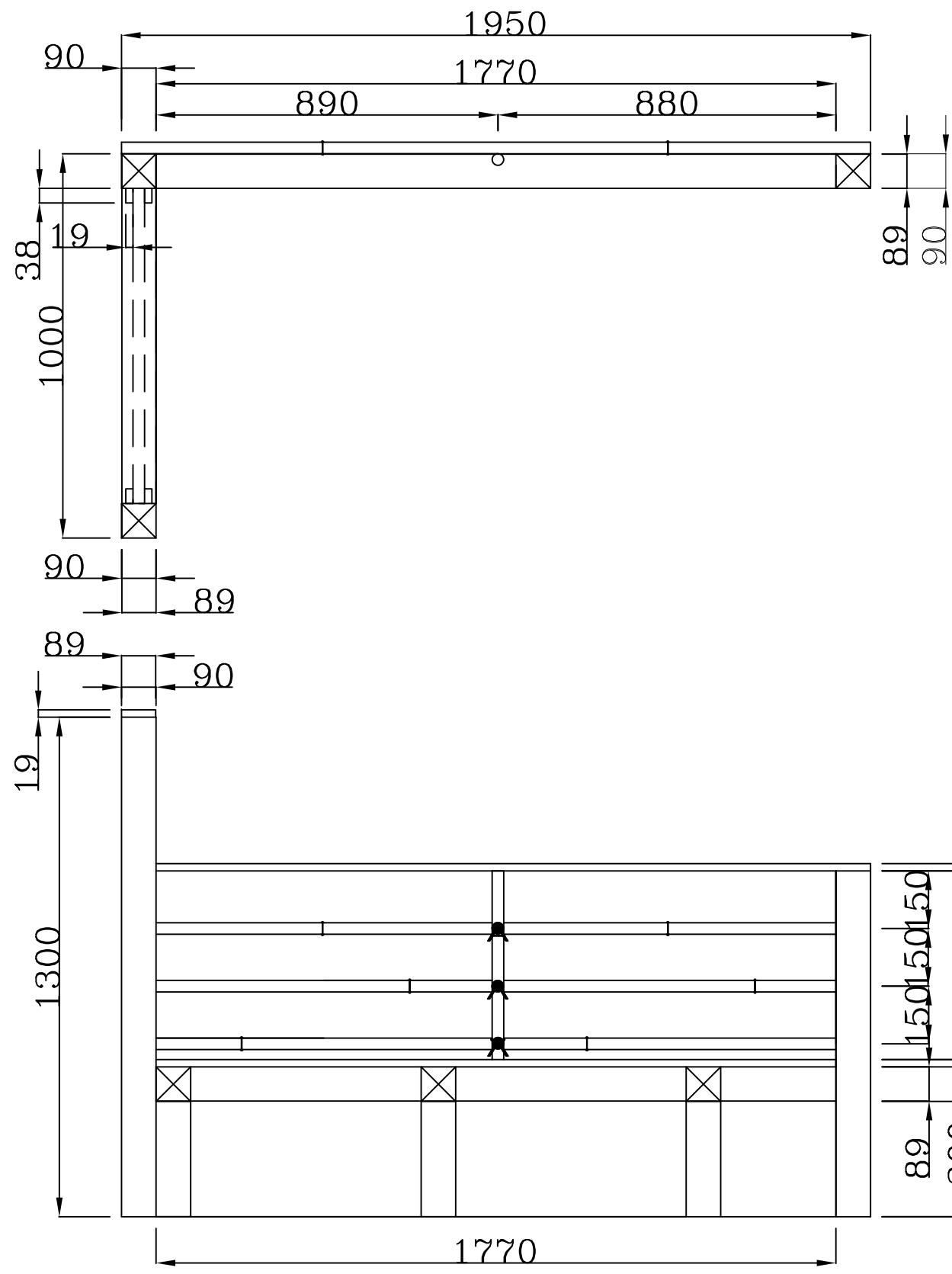
竹垣



$$\begin{array}{ccc} 1 & \diamond & 1 \\ \hline & \diamond & \end{array}$$

竹垣、背もたれ

ベシチ



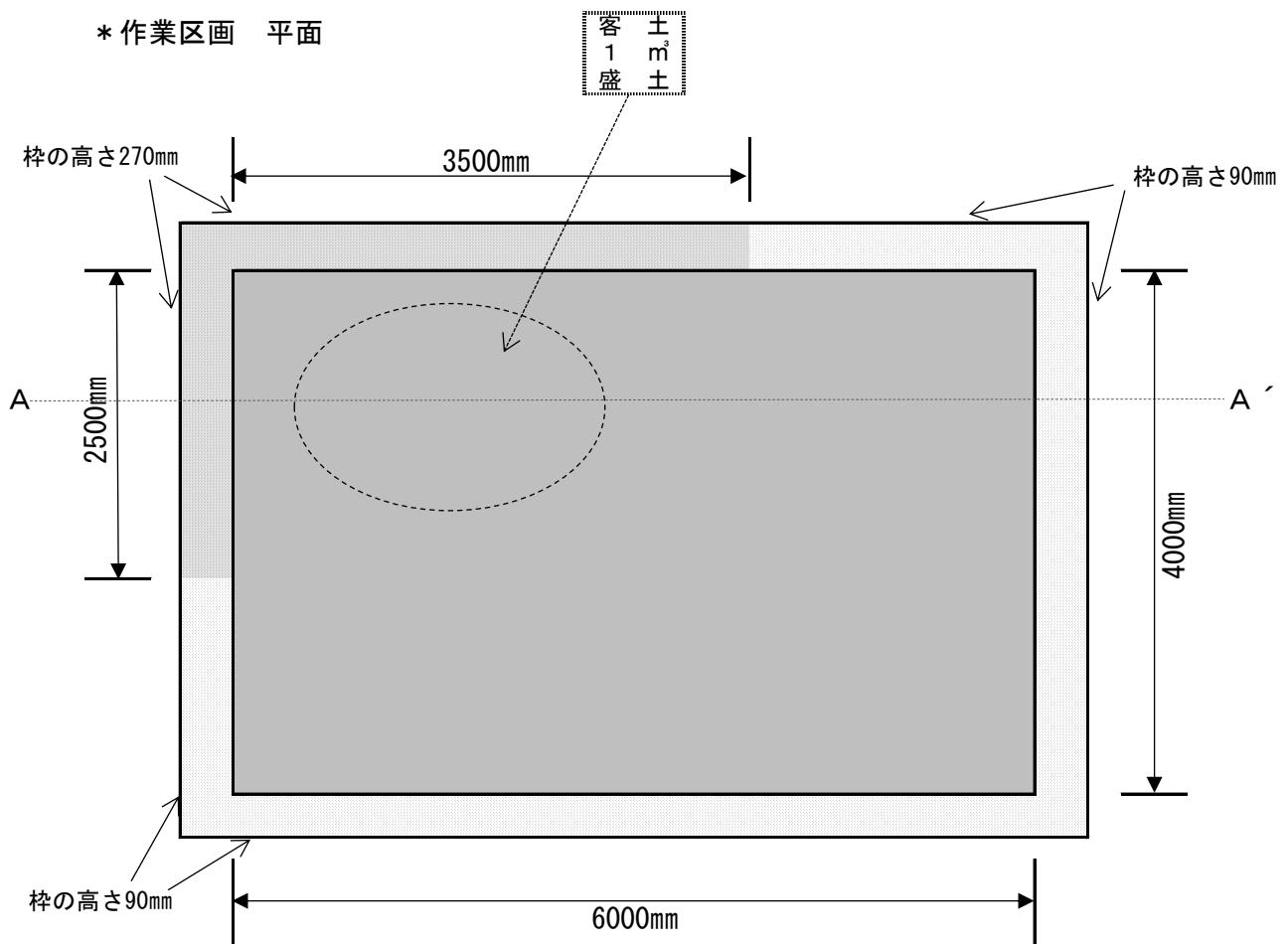
1 : 15

公 表

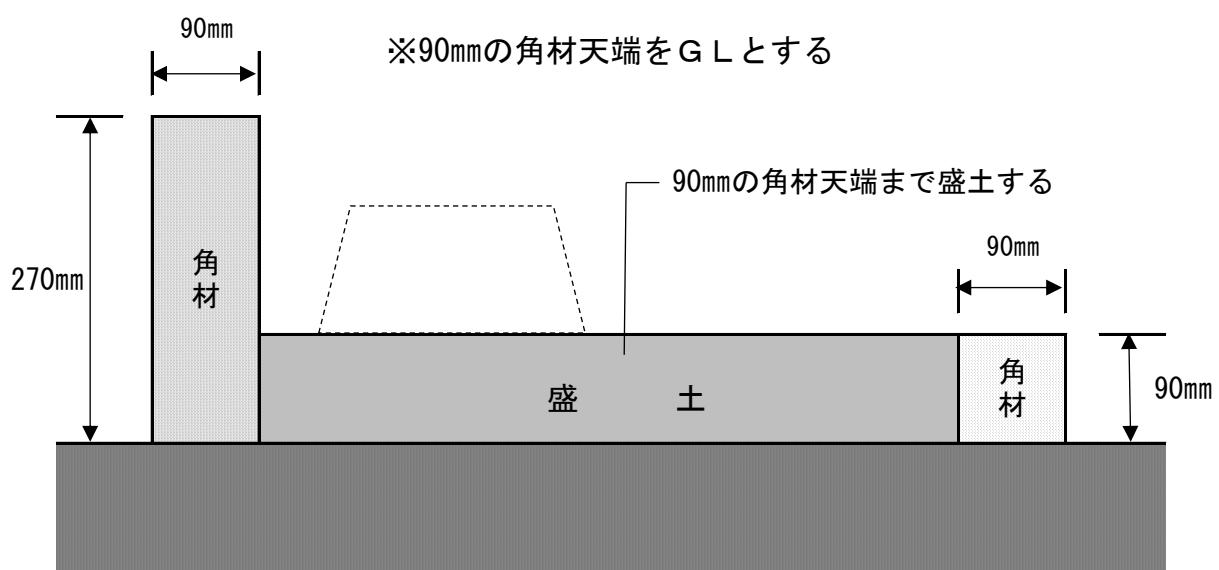
**第56回技能五輪全国大会「造園」職種競技会場設備基準**

設備の名称		寸法又は規格	数 量	備 考
区 分	品 名			
設備類	作業区画	一区画 6000×4000mm	出場組数分	<ul style="list-style-type: none"> <li>各区画は、角材を使い水平に枠を作り、枠上部まで盛土する(別添図を参照)。</li> <li>加工にともなう端材及び剪定枝など集積場所を設ける。</li> <li>会場周辺はフェンス等で囲い、夜間警備すること。</li> </ul>
	ベニヤ板	900×1800×12mm 900×1800×5.5mm	出場組数分 出場組数分	
	客土	一区画当たり 1m <sup>3</sup>	出場組数分	
運搬具	一輪車		出場組数分	

\* 作業区画 平面



\* 作業区画 断面 A-A'



平成30年7月6日

第56回技能五輪全国大会  
『造園』職種参加選手 殿

技能五輪造園職種競技委員会  
主査 野村脩

技能五輪全国大会公表課題への質問等について

このことにつきまして、第56回技能五輪全国大会・造園職種競技課題への質問等は、8月22日（水）までに中央職業能力開発協会宛に文書（電話は不可）でお送りください。競技委員会にてとりまとめて回答文書を作成し、中央職業能力開発協会のホームページ上でお知らせいたします。

なお、課題に対する質問は選手に限り、代理者からの質問には一切お答えできません。また電話等による個別の質問にも、一切お答えできませんので、ご承知おき下さい。

その他、大会までの間に訂正、変更、追加連絡等が生じた場合もすべて中央職業能力開発協会を通じてお知らせ致します。

公 表

第56回技能五輪全国大会 造園競技 石積用石材調達先

品名	連絡先
石積用石材(野面積み) (琉球石灰岩)	(一社)日本造園組合連合会 沖縄県支部 担当:我如古 TEL 098-876-8894 FAX 098-876-9077

石積用石材(見本)



## 公表

## 第56回技能五輪全国大会 出場者からの質問と回答

		質問	回答
1	野面積み	石積みの根入れは9cm以上可能でしょうか。	可能。
2	野面積み	石積みの後ろの盛土部分を水で固めてよいのか。	各自の裁量に任せる。
3	野面積み	野面積みの木枠側の角石の面を出す必要はあるか。	各自の裁量に任せる。
4	小舗石・レンガ・延石敷き・石張り	支給される小舗石が2色ありますが、使い方を選手が決めて良いのですか。	平面図の斜線が入っている部分にサビ色の小舗石を、斜線が入っていない部分に白色の小舗石を使用。
5	小舗石・レンガ・延石敷き・石張り	平面図で小舗石にハッチングがかかっている物とそうでない物の識別は何ですか。	
6	小舗石・レンガ・延石敷き・石張り	小舗石のサビ色を使う場所は、斜線の引かれている場所ですか。また、白色の小舗石を使う場所は斜線なしの場所ですか。	
7	小舗石・レンガ・延石敷き・石張り	小舗石は図面のように四ツ目を作る伏せ方でいいですか。	図面のように施工する。 レンガは目地なしで施工すること。
8	小舗石・レンガ・延石敷き・石張り	小舗石の形や大きさによりますが、目地は縦の目地を優先して通せばいいのか、横の目地を優先して通せばいいですか。	
9	小舗石・レンガ・延石敷き・石張り	小舗石の目地は通してもいいか。	
10	小舗石・レンガ・延石敷き・石張り	小舗石敷きは図面通り、イモ目地で施工するのですか。	目地ありで施工する。
11	小舗石・レンガ・延石敷き・石張り	ピンコロ、レンガはイモ目地でよいか。	
12	小舗石・レンガ・延石敷き・石張り	小舗石の目地は空けなければならないのか。	
13	小舗石・レンガ・延石敷き・石張り	目地用の砂は支給されるか。	支給しない。
14	小舗石・レンガ・延石敷き・石張り	小舗石の目地は目土をするのですか。やらなかつた場合、採点に影響は出ますか。	目地には盛土または客土を使用。
15	小舗石・レンガ・延石敷き・石張り	石張りにおいて、小舗石に接する部分に目地は設けますか。	図面のように施工する。
16	小端積み	小端積みの枠に接する部分は段逃げとありますか、高さの指定はありますか。	各自の裁量に任せる。
17	小端積み	小端積みの段落ち部分の高さや位置の指定はあるのか。	
18	小端積み	仕様3-3「石積みには目地を設け、」とあるが、土目地でよいか。	よい。
19	小端積み	小端積み用の目地砂は用意されていますか。	目地には盛土または客土を使用。
20	小端積み	目地幅の決まりはありますか。	各自の裁量に任せる。
21	小端積み	コバ積みの目地は縦・横ともに入れないので	

22	小端積み	小端積みに目地を設けると書いていますが、どのように目地を設ければいいですか。	
23	小端積み	コバ積みの長さ $L = 1600$ ですが、枠からの寸法 $1450\text{mm}$ と $1360\text{mm}$ を取るとコバ積みの長さが $L = 1597$ になると思いますがどちらが基準でしょうか。	別紙変更図面の通り。(別紙 平面図 参照)
24	竹垣	半割りの胴縁を枠木 ( $38 \times 19 \times 1200$ ) に取り付ける時、小さなビスや釘を持参して使ってもいいですか。	竹垣を作成する際の仮止め用として、 $20\text{mm}$ 以下のビスの持ち込み可。
25	竹垣	組子の柱付き部分は角材に沿って 4 本とも揃えて斜めに切り揃えなくてはならないですか。	各自の裁量に任せる。
26	竹垣	竹垣の立子 (割竹) は、片面使用ですか。	片面使用。
27	竹垣	竹垣の結束は男結びなのか、飾り結びなのか。	いぼ結びにする。(男結び)
28	竹垣	シュロ繩の結束のしりは $2\text{cm}$ でいいですか。	良い。
29	竹垣	竹垣用 L 金具は木枠との固定に使用するものですか。	柱を枠に固定するもので、地中で L 型金具を 4 個使用する。
30	竹垣	竹垣用 L 金具の取り付け箇所の指定はあるのか。	
31	竹垣	枠の上に L 型金具をつけてよいか。	
32	竹垣	竹垣の竹割り工具に指定はあるか。	ない。
33	竹垣	一日目の終了は、竹垣までとなっていますが、背もたれも含まれますか。垣根まででしょうか。	背もたれは含まれない。
34	竹垣、ベンチ、	竹垣の柱、ベンチの脚は根入れさせても良いですか。	竹垣の柱、背もたれの柱は根入れする。ベンチの脚は根入れしない。
35	竹垣、ベンチ、	竹垣やベンチ、背もたれなどは地面に置いた状態で固定しますか。(地入れはしなくていいですか)	
36	ベンチ	ベンチ用 L 金具、ベンチ用平金具の取り付け箇所の指定はあるのか。	各自の裁量に任せる。
37	ベンチ	枠の上に L 型金具をつけてよいか。	柱を枠に固定するもので、地中で L 型金具を 2 個使用する。
38	ベンチ	背もたれの天端板と竹垣柱の取り付けは L 型金具でビス止めの考え方でよいですか。	竹垣柱への天端板の固定はビス止めとする。
39	ベンチ	平金具はベンチの竹垣の上の天端板をとめるために使っていいですか。	不可。ベンチに使用。
40	ベンチ	シュロ繩の結束のしりは $2\text{cm}$ でいいですか。	良い。
41	ベンチ	ベンチと板石の平行ラインですが $450\text{mm}$ であれば平行が出ません。 $453\text{mm}$ ではありますか。	別紙変更図面の通り。(別紙 平面図 参照)
42	敷石、飛び石	飛び石の数は大きさによって合端が異なるため、数量を増やしたり減らしてもいいですか。	図面のように施工する。
43	敷石、飛び石	自然石の飛び石は、平面図の通り 1 石・2 石の組み合わせで仕上げるのですか。	

44	敷石、飛び石	指定されていない飛び石の高さは選手が設定すれば良いですか。	各自の裁量に任せる。
45	敷石、飛び石	飛び石で表記のないチリの高さはどのように施工しますか。	
46	敷石、飛び石	飛び石・台石は加工してよいか。	加工して良い。
47	敷石、飛び石	コバ積み側の敷石に高さ明記されていない物がありますが、+100との考え方でよいですか。	良い。
48	水鉢	水鉢の仕上げ高が明記されていませんが、指定高はないですか。	図面のように施工する。
49	水鉢	水鉢は仕様で3-7で終わるようになっているが、草花植栽部のRを出すのに支障が出るので、3-9の工程の中で水鉢を置き水を張り、水草を浮かべても良いですか。	各自の裁量に任せる。
50	植栽	低木H=300mm W=300mmが12株支給されるが、図面上で描かれているのは9株しかありません。残りの3株は自分たちの采配でよいのか。	各自の裁量に任せる。ただし、指定箇所に修景に考慮して植栽すること。
51	植栽	支給材料の中でH=0.3の低木が12株とありますが、平面図では9株となっています。ルールとして野面積みのL=500方向に2株、コバ積みの後の植栽スペースに残りを植栽したら良いですか。	
52	植栽	高木に水鉢は必要ですか。	不要。
53	植栽	樹木の剪定は採点に入るか。	高木、中木は剪定不可。低木は剪定可。
54	草花植栽	ポットは外して植栽してもいいですか。	ポットは外さない。
55	芝の植え付け	芝生地のGL+0は葉先の高さですか。	葉の天端で±0。
56	支給材料	小端積み用石材は、機械切りですか。それともバーナー、ビシャン仕上げですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小端積み用石材 全面切削</li> <li>・小舗石 全面割肌</li> <li>・石張り用石材 1面バーナー、他切削</li> <li>・敷石 1面ビシャン、他切削</li> <li>・色は競技前日(11月2日)、会場で確認。</li> </ul>
57	支給材料	小端積み用石材(600×100×30、600×100×70)は、バーナー仕上げ、ビシャン仕上げ、機械仕上げ(ツルッとした墓石)、どの仕上げでしょうか。	
58	支給材料	各加工石の6面の仕上げは何仕上げで支給されますか。また、色も教えてください。	
59	支給材料	石張り用石材はどこで調達したらいいですか。	特注品(中国で加工)のため、在庫がない。発注後、納品に約1月半かかるため対応不可。
60	支給材料	乱張り用の御影石の石材調達先はどこか。	
61	支給材料	小端積み用石材はどこで調達したらいいですか。	
62	支給材料	小端積み用の御影石の石材調達先はどこか。	写真はない。
63	支給材料	延石、板石、コバ積み石の写真を掲載してください。石材の調達先もお知らせください。	中国産
64	支給材料	支給材料小舗石の産地はどこですか。	

65	支給材料	石張り（乱張り）で使用する材料は長方形の形をしたものか。	支給材料の表を確認。
66	支給材料	高木、中木、低木、また、草花等の種類は何ですか。	
67	支給材料	樹種の発表はありますか。	
68	支給材料	樹木、下草、草花の発表はいつ頃か。	高木はピンクテコマ 中木はフクギを予定
69	支給材料	高木・中木・低木・下草・草花の樹種を教えてください。現地にて確認という回答であれば、本土で入手できる種類かだけでもご回答ください。	低木、下草、草花については現地調達予定。 種類については、競技前日（11月2日）、会場で確認。
70	支給材料	草花の支給材料の発表はありますか。	
71	支給材料	支給材料の竹の種類と長さを教えてください。	
72	支給材料	竹垣・ベンチ用の平板材の材質は何ですか。	競技前日（11月2日）、会場で確認。
73	支給材料	平板材の支給がL=3600が4枚とありますが、使用する平板材に余裕がありません。予備品として支給していただくことは可能でしょうか。	支給された材料で対応する。
74	支給材料	水鉢の材質は何ですか。	プラスチック製。
75	支給材料	コウライ芝はロール芝ですか。	
76	支給材料	コウライシバのサイズの発表はありますか。	競技前日（11月2日）、会場で確認。
77	支給材料	支給されるベニヤ板は切って使ってもいいですか。	良い。ただし、材料として使用するのは不可。
78	支給材料	支給材料に、モルタル・砂が含まれていませんが、レンガや石の据え付けはどのようにするのですか。こちらから会場に持ち込むということですか。	モルタル・砂は使わない。支給された材料で対応する。
79	支給材料	支給材料が余ってもいいか。	各自の裁量に任せる。
80	支給材料	材料が足りなくなつた時はどうなるのか。	支給された材料で対応する。
81	支給材料	支給材料の重さは、人力で運ぶことのできる材料か。	人力で運べる。
82	その他	作業区画（枠木）の高さについて、課題図と設置基準で差異がありますが、どちらの表記が正しいですか。	図面の通り。
83	その他	競技会場の地面はどのようなものですか。また地盤と盛土の間には、何か仕切りがありますか。	サッカー等競技グラウンドとして使用している 固い地面。仕切りはない。
84	その他	枠内の盛土は締め固めてありますか。	締め固めてある。

85	その他	盛土の材質は何ですか。	赤土と砂の混合。
86	その他	盛土の下は掘ることは可能ですか。（ピンポールや鉄筋を打ち込む目的のため）	掘削は可能。
87	その他	作業区画の地盤はどうなっているのか。掘削できるのか。	
88	その他	木枠（9cm）以上掘ることはできるか。	
89	その他	GL-90（角材枠組み）より下は掘削可能ですか。掘削可能であれば何センチまで掘削できますか。また、掘削できない条件であれば、ピンポールなどのやり方は9cm以上打ち込めないという考え方で良いでしょうか。	
90	その他	整地高の指示がありませんが、余った土はその中で敷き均すという考え方でよいですか。	支給材料の客土に戻して良い。
91	その他	区画の角部分の内側はL型金具でとめられていますか。	角部分の内側はL型金具でとめられていない。
92	その他	修景的に盛土をするために、既定の配布土量が足りない場合は、補足で補充があるのか。	支給された材料で対応する。
93	その他	作業台を持参し木材切断する時、固定のための枠木は持参してもいいですか。	簡易的な作業台は使用可。 ただし、印をつける、必要な寸法に合わせて切るなど、事前に加工したものは使用禁止。
94	その他	作業台の持ち込みは可能か。	
95	その他	11月2日（金）の「下見」は、およそ何分の予定ですか。	材料確認の時間は30分程度。
96	その他	競技1日目の午前の終了時間は何時ですか。	中央職業能力開発協会ホームページの競技日程表参照。
97	その他	掲載していただいている図面通りに施工するということで間違いないですか。	図面の通りに施工する。
98	その他	定規として準備してきた用具などは使用を禁止するとありますが、定規の使用が禁止ということですか。	定規は使用して良い。
99	その他	やり方の木材及びビス、針などを持参してよいですか。（例年は認められていますが）	やり方に使用する垂木や貫板、杭、L型金具、クギやビスは持ち込んでも良い。 ただし、印をつける、必要な寸法に合わせて切るなど事前に加工したものは使用禁止。
100	その他	木材は持ち込み可能か。	
101	その他	支給材料以外の材料の使用は可能ですか。	不可。
102	その他	工具等ですが、水準器の使用は可能ですか。	水平器の使用は可。
103	その他	メジャーは使用可能か。	良い。
104	その他	チェーンブロックは使用可能か。	不可。
105	その他	チェーンブロックを使用しないといけない材料はあるか。	ない。
106	その他	隣接する区画との間隔を教えてください。	競技前日（11月2日）、会場で確認。

107	その他	今回は区画がかなり広いように思われます。石等の加工は区画内で行うのですか。それとも例年通り区画の外で加工しても良いでしょうか。	指定された場所であれば、区画の外で加工して良い。場所については11月2日に指示する。
108	その他	モジュール採点は採点箇所、周辺のGLはGL=0にしないといけませんか。やらなかつた場合、採点に影響はでますか。	GLは0にしなくても良い。
109	その他	モジュール採点1日目の3-2ピンコロ、レンガの間の芝張り部分の地均し、整地も採点に入りますか。	対象外。
110	その他	土側の敷石・飛び石等の高さ検測はすべてGL設定された角材の天端より検測するのでしょうか。敷き均しされた土の高さから指定された高さまでの検測はすることはないのでしょうか。例えば+100の敷石の周囲の整地を+0で仕上げる必要はないですか。	枠木を基準とする。 図面のように見栄え良く仕上げる。
111	その他	3mm~5mm単位で図面上の寸法が丸まっているように思います。そのため、構造物の接点やRの当たりで誤差が出るよう感じます。どのように対応すれば良いですか。	図面の寸法を優先する。